

平成30年度 学校評価

項目(担当)	重点事項	具体的方策	留意事項
本年度の重点目標	①教科指導の充実 ②生徒指導の充実 ③進路指導の充実 ④学校の活性化 ⑤防災・保健・相談活動の充実 ⑥情報社会への対応 ⑦業務の適正化など職場環境の整備		
総務部	広報活動	HPの有効活用、中学生体験入学の内容改善	PTA活動や学校行事の様子が地域に伝わるように、HPの改善に努める。体験入学の魅力向上
	防災活動	津波防災避難訓練の実施	実際の津波における対策を生徒に理解させる。
教務部	基礎学力の向上	魅力ある授業実践 評価方法の研究	アクティブラーニングや ICT を的確に取り入れるなどして、生徒が主体的に取り組む授業展開を目指す。各種研究活動内容を共有する。
生徒指導部	いじめ防止基本方針の検討	いじめの防止等に関する取組の検討 心のアンケートの見直し・検討	各分掌が取組を検証し、改善を検討する。 いじめの早期発見・適切な対応に活用する。
	交通安全意識の向上	高校生としての交通安全に関する意識の高揚	講話や交通指導立番を活用して、交通ルールの厳守を自覚させる。
進路指導部	進学指導の充実	進路目標実現を見据えた、1年次からの3カ年学習プランとキャリア教育の確立	正しい職業観を養い、進学または就職後の生き方・働き方を考えさせる進路指導の実践。 目標実現のため、各学年で必要な学習計画の実践。
保健部	生徒の健康増進	健康観察や自己管理能力の向上	健康観察、個別の指導計画、保健室来室、SC相談者の状況を共有し、生徒指導に生かす。
	環境美化・安全の推進	生徒美化委員会の活動の活性化 安全点検の実施	美化委員による清掃点検を実施し、生徒の環境美化と安全に対する意識を高めていく。
生徒会部	部活動の活性化	学年会、部活動顧問との連携 部活動における安全の確保	第1学年と部顧問との情報交換を密にする。 下校時刻、環境の整備など、安全面で配慮する。
	生徒会活動の充実	生徒会顧問教員、生徒会役員、常任委員会の、三者間の協力	教員は、委員会生徒の自主的な発案を促進できるような組織作り、雰囲気作りをサポートする。
情報管理部	図書館利用の促進	図書館だより、図書館報の充実 図書委員会活動の充実	魅力ある図書館情報の発信に努める。
	校内情報処理システム	Webページの充実 メソフィア移行への研究	Webページ更新の頻度を高める。
3年生	自覚と責任	身だしなみ指導	保護者に協力をお願いする。 身だしなみの大切さを説く。
	自主性と協調性	学校行事への参加とリーダーシップの育成	仲間と協力し、最上級生として学校行事等でリーダーシップがとれるよう指導する。
	進路目標の実現	目標設定と進路実現の支援	進路意識を喚起し、進路目標に向けて自ら行動できるように、きめ細かく指導する。
2年生	自覚と責任	集団の中での役割の自覚 欠席、遅刻の防止	日頃から正しい身だしなみの指導をする。 保護者との連絡を密にする。
	学力の向上	授業への前向きな取り組み 個別学習指導	生徒の学習活動が深まるよう授業を工夫する。 進路実現を意識させ、基礎学力の向上を図る。
	進路目標の設定	LTやKT、個人面談の活用	進路学習やガイダンスの充実を図り、目標がより具体化するよう指導する。
1年生	生活や行動の自立	基本的な生活習慣の確立 部活動・ボランティア活動の推奨	遅刻の防止、身だしなみの大切さを説く。 自主活動への積極的な参加を促す。
	基礎学力の向上	基礎基本の定着と読解力の育成、家庭学習の習慣化	基本的な思考力・読解力の定着を図る。 日常的な課題で家庭学習の習慣を身につける。
	進路研究	多様な進路研究と職業観の育成、類型・コースの選択	進路ガイダンスを有効に活用する。 保護者とも連携し、希望に添った選択を目指す。
生活文化科	生活文化科の活性化	生活文化科の行事や活動の活性化を図る。	生活文化科の多様な行事の充実と広報活動を行う。
	実習科目を中心とした教科指導の充実	検定などの基礎基本の徹底と、社会人講師の導入などによる教科指導の充実を図る。	生徒が主体的に取り組める授業展開を工夫する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	①学習指導における授業の充実について ②進路指導における進路意識の向上について ③生徒指導におけるマナーの向上について ④生徒会・学校行事の充実について		